

## 野生動物による農作物被害を防ぐには

NO.4

### <イノシシの運動能力編>

近年、県内でもイノシシによる農業被害が激しく、各地で対策が講じられているところですが、イノシシの運動能力に関する情報が不足していること等から、効果が期待できない技術を利用する事例が見受けられます。

イノシシは、本来昼行性の動物ですが、人間を避けて行動するため、圃場周辺では夜間の行動が多く、姿を目にする機会はさほど多くはありません。今回は、イノシシがどんな生き物なのかを紹介します。



#### 特徴

体重 通常 100kg くらいまで

寿命：5～10 年前後 産子数：2～8 子 出産期：4 月下旬～7 月上旬

#### 跳躍能力

成獣 120cm 程度（体重 20kg 前後の幼獣でもトタン板の高さ 60cm 程度は跳躍可）

なお、飛び越える際には助走しない。

純粋な運動能力はこの程度あるが、トタンやワイヤーメッシュ柵に対しては強い警戒心を抱くため、慣れが生じない限りはこれらの柵は効果が得られる。

#### 鼻の押し上げ力量

60kg 程度（メスの成獣）

トタンやワイヤーメッシュといった物理的な障害物により圃場を囲う場合には、強固に固定する必要がある。

#### くぐり抜け

20cm 程度の高さまで可能（障害物を持ち上げながらほふく前進する）

簡易電気柵により圃場を囲う場合には、電柵線下の隙間を 20cm 程度とする

#### においに対する反応

木酢液・クレオソート なめる、体をこすりつける等の反応を示し、忌避しない

猛獣の糞 無視する、摂食する、体にこすりつける等の反応を示し、忌避しない

においにより、被害防止効果を求めることは難しい